

講義コード	11C0111800	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	異文化コミュニケーション2					ホーマン 由佳		第2期	
履修前提条件						備考			
授業の目的	異文化理解とは、外国人との交流を意味するだけではなく自己と他者の関係を考えることでもある。この授業では、日本と海外のメディア（テレビCM、広告、新聞記事）を通して、異文化に対する姿勢や意識を高めることを目的とする。								
到達目標	日常生活に身近なメディアから送り出されるメッセージをただ受け取るだけでなく、制作者の意図を考えたり、内容を主体的に読み解く能力（メディアリテラシー）を身につけることを目標とする。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で扱ったメディア素材を見直して課題に取り組むこと。 授業外学修時間は60時間。								
授業計画	【第1回】 講義概要 【第2回】 メディアを通して異文化を知るとは 【第3回】 テレビCM（1） 【第4回】 テレビCM（2） 【第5回】 広告批評（1） 【第6回】 広告批評（2） 【第7回】 メディアリテラシー（1） 【第8回】 メディアリテラシー（1） 【第9回】 メディアリテラシー（1） 【第10回】 映画批評（1） 【第11回】 映画批評（2） 【第12回】 新聞批評（1） 【第13回】 新聞批評（2） 【第14回】 新聞批評（3） 【第15回】 総括								
成績評価の方法	課題提出 50%、期末試験 50%								
フィードバックの内容	授業中に取り組む演習課題の結果を翌週以降の授業内で教員が開示し、学生の理解や意見をクラスで共有する。								
教科書	『メディアリテラシー 世界の現場から』菅谷明子（岩波新書）2000								
指定図書									
参考書									
教員からのお知らせ	授業は教員による講義とワークシートを使用する演習の2本立てで進めます。授業では主体的に考えて書くことが求められるので、積極的な授業参加を期待します。私語は慎んで下さい。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、学部学科にて定めるオフィスアワー（水曜日2限）にて受付けます								
その他	随時プリント配布								